

令和元年度一般財団法人古河市地域振興公社事業報告

事業概要

令和元年度の指定管理事業及び受託事業につきましては、合併により膨大化、多角化した事業運営に対応すべく、限られた経営資源の中での将来を見越した効果的な予算執行を心がけ、古河市に対する企画提案や計画的な修繕等を実施し、安全で安心な管理運営に努めてまいりました。

また、労働基準法関連法の改正、いわゆる働き方改革に係る対応につきましては、社会保険労務士や関係機関との協議を重ね、同一労働同一賃金等の原則を踏まえた就業規程等の改正を行い、滞りなく遂行いたしました。なお、現在も続いております新型コロナウイルス感染症につきましては、発生当初より、古河市各担当課と連携し、感染拡大防止に努めております。

令和元年度の事業の主な成果は以下の通りです。

1. 全事業共通事項

- ① 各種法令、基本協定の履行につきましては、コンプライアンスに努めた結果、基本協定に基づく市のモニタリングに際して、特段の指摘はありませんでした。
- ② 個人情報の管理の徹底につきましては、ネットワークシステムの総合的な安全対策のため導入された、最新鋭のセキュリティシステムの運用方法を再検証し、令和2年度での本格的稼働に向けてのインフラ及び事務的整理を実施いたしました。
また、接客対応の向上につきましては、導入2年目となるコンピューターを利用した「イーラーニング」研修に加え、さらに組織全体の効果を上げるべく、専門講師による研修を実施いたしました。

2. 指定管理事業

(1) 総合公園管理運営事業

- ① 駐車場利用料（桃まつり）について
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第44回桃まつりが中止となったことに伴い、令和2年3月の駐車料金徴収が実施できませんでした。このため、平成31年4月に実施した第43回の5日間分のみとなり、前年度より8,149千円減の1,821千円となりました。また障害者減免制度につきましては、331台減の161台の利用となりました。
- ② 安全で安心な園内環境の維持管理について
(ア) 高木の枝折れ等について、枝下ろしや伐採等を行いました。

(イ)花桃に新たな病虫害(特定外来種クビアカツヤカミキリ)が発生したため、樹木医や専門機関と連携し、拡散防止、防除等の対策に努め、巡回観察をより強化しました。

(ウ)ホームレスの寝泊まり対策として、四阿のベンチに肘掛けを兼ねた間仕切りを設置しました。

(エ)トイレの手洗水栓のいたずら対策として、自閉式及びセンサー式に交換を行いました。

(オ)異音が発生していた展示室エアコン、女子トイレ換気扇の修繕を実施しました。

(カ)トイレの悪臭対策のため、床のガラスコーティング清掃を実施しました。

③ 利用規則の周知と保安の強化について

(ア)警備会社と連携し、ホームレス対策を強化しました。

(イ)車輛による巡回のほか、徒歩によるこまめな巡回を行いました。

(ウ)不審者対策として、鴻巣交番との連携を深め、巡回強化を引き続き要請しました。

④ 桃まつり期間中の駐車場管理について

(ア)料金徴収業務はシルバー人材センター、警備業務は専門の警備会社に委託しました。期間中、大きなトラブル等もなく、スムーズな運営を行うことが出来ました。

(イ)渋滞緩和及び駐車場空きスペース等の確認を迅速に行うため、無線機を使用し、スムーズな車輛の誘導につなげました。

(ウ)駐車場内に仮設トイレを10台設置し、トイレの混雑緩和に努めました。

(エ)桃まつりが中止となった令和2年3月においては、警備業務及び仮設トイレ設置を古河市にて配備し、公社ではシルバー人材センター人員を土日祝日も配置し巡回を強化することにより、不測の事態に備えました。

⑤ イベント等への協力について

桃まつりやよかんべまつり等への協力のほか、古河ケーブルテレビの古河市広報番組に出演し、新茶まつりや大賀ハスなどの情報発信を行いました。

(2) ネーブルパーク管理運営事業

① 通常営業について

各施設における利用状況は、次のとおりとなりました。

(ア) キャビン・バーベキュー広場

キャビン・バーベキュー広場を合わせた利用人数は、前年度に対し1,875人減の21,491人、利用料は1,448千円増の27,367千円となりました。

(イ) 軽食販売

そば屋、パン屋など軽食販売につきましては、季節に応じたメニューに変更を行い、屋外テントでの販売など、利便性の向上及び販売の促進に努めましたが、前年度に対し101千円減の34,177千円の売上げとなりました。

(ウ) ポニー牧場

ポニー牧場につきましては、ポニー及び職員減での年度開始となり、事業全体を縮小したため、利用料は前年度に対し1,563千円減の3,314千円、また売上収入は、前年度に対し139千円減の1,075千円となりました。なお、ポ

ニー乗馬クラブは1,174人、障害者乗馬（ネーブルの会）には169人が参加しました。

(エ)平成館

研修棟、宿泊棟の利用者（宿泊者、研修者合計）につきましては、前年度に対し2,559人減の25,674人、利用料は前年度に対し2,260千円減の20,631千円となりました。また、レストラン売上収入は前年度に対し2,419千円減の17,185千円となりました。

(オ)その他の園内施設

工芸館、釣堀、ミニS Lを合わせた利用料は前年度より114千円減の10,326千円となりました。地下迷路は料金の変更を行ったことにより、利用者2,984人減に対し、187千円増の2,686千円となりました。

②自然と様々な遊び場が調和した公園づくりと適切な情報発信について

(ア)花と緑豊かな園内環境を維持するために、第二駐車場のドウダンツツジ植栽、園内各所にパンジー6,300株、サルビア等6,400株の植栽を行いました。

(イ)湧池、せせらぎ等の清掃を公社職員により実施しました。また、さらなる公園環境の美化を図るために専門業者による清掃も行いました。

(ウ)チップシュレッターを購入し、伐採した枝等のチップ化、堆肥化を行い、リサイクル、有効活用に努めました。

(エ)イベント・営業変更・園内修繕などの情報を、ホームページを活用し発信を行いました。

③定期的な園内巡回による安全安心な管理について

園内及び遊具の巡回点検を適宜実施し、不具合箇所の早期発見及び修繕を行うなど安全安心な公園管理に努めました。

④施設の計画的な修繕について

各施設の経年劣化した設備備品の修繕、更新を次の通り行いました。

(ア)公園内の屋外トイレ2カ所とそば屋1カ所を洋式便座に交換しました。

(イ)工芸館の蛍光灯をLED照明器具に交換しました。

(ウ)平成館前ロータリーを改修しました。

(エ)平成館の経年劣化による故障及び損傷箇所の交換修繕を行いました。

(オ)屋外ベンチの修繕及び塗装を行いました。

⑤キャビン・バーベキュー広場の衛生管理について

(ア)貸出備品の洗浄および定位置への保管を行うなど衛生管理を徹底し、安全安心に利用できるよう努めました。

(イ)利用者が快適に過ごせるよう、害虫の発生時期に合わせキャビンの燻煙駆除を行いました。

(ウ)利用者へのアンケートの他、窓口でのコミュニケーションによる利用者ニーズの把握を行いました。

⑥工芸館の利用向上について

絵付け素材に、ご飯茶碗・フリーカップを導入し、利用者の好評を頂きました。

⑦ポニー牧場における利用者の安全確保について

定期的な獣医師の診察によりポニーの体調管理を適切に行うことで、利用者の安全確保に繋がりました。

⑧利用者拡大と衛生管理について【軽食販売】

繁忙期（GW、夏休み）に市内業者による飲食の出店を行い、来園者の利便性向上に努めました。

また、清掃、手洗い等の徹底を図るなど衛生管理の向上に努めました。

⑨イベント等への協力について

ネーブルパークで実施されたさくらまつり（平成31年4月期）や菊まつりの各実行委員会への参加など、積極的に協力を行いました。

⑩館内の衛生管理について【平成館】

（ア）施設清掃専門業者による清掃に加え、職員による日常的な清掃も行い、清潔な環境づくりに努めました。

（イ）レジオネラ菌の繁殖防止につきましては、防止マニュアルに沿った塩素による水質管理、ヘアキャッチャーの清掃を適宜実施し事故防止に努めました。

（ウ）食中毒の発生防止につきましては、来館者への手指の消毒案内、調理者の手洗い等の徹底、衛生点検管理表を使用した定期確認などを行いました。

⑪館内照明のLEDへの更新について【平成館】

老朽化した脱衣所・涼場及び事務室の照明器具をLED照明へ更新しました。

⑫ホームページを利用した情報発信について【平成館】

空室状況の定期更新とブログの更新を適宜行いました。また、利用料金やレストランメニューの変更、各種お知らせ等を随時更新し、情報発信に努めました。

⑬期間限定宿泊パックの充実による利用者拡大について【平成館】

（ア）「菊まつり期間限定宿泊パック」、「クリスマス・つどい宿泊パック」の案内をダイレクトメールで周知し、情報誌「こがも」等へのPR掲載など、新たな顧客獲得につなげるよう利用促進に努めました。

（イ）菊まつり期間中のレストラン「木立」による一般開放チラシを近隣福祉施設にダイレクトメールで発送し、利用促進に努めました。また、園内への案内看板を増設し、利用者に周知しました。

（ウ）期間限定宿泊パックにつきましては、菊まつりパック（10/27～11/23）、クリスマスパック（12/1～12/25）、つどいパック（1/8～2/28）を引き続き実施し、76件506人の利用がありました。

（エ）キャビン利用者に対し、平成館レストランが利用できることを周知するため、レストラン紹介チラシを作成し、配布しました。

⑭繁忙期におけるレストランの特別営業について【平成館】

菊まつり期間中の特別営業として土曜日・日曜日の一般開放を行い、来園者へのサービス向上に努めました。

⑮レストランメニューのリニューアルに向けた調査について【平成館】

利用者ニーズの調査を行い、内容と価格のバランスを考えた食事メニューを作成し、宣材撮影やホームページ掲載など、令和2年4月からの提供準備を行いました。

⑯多様な利用形態を想定した利用者の開拓について【平成館】

情報誌「おりっぷ」等を利用し、平成館の利用者拡大を目的とするPRを実施しました。また、古河市工業

会へパンフレット配布等でのPRを行いました。

(3) ふるさとの森管理運営事業

① 通常営業について

各施設における利用状況は、次のとおりとなりました。

(ア) バーベキュー広場

バーベキュー広場の貸し出しにつきましては、利用件数は前年度に対し40件増の159件、利用料は26千円増の161千円となりました。

(イ) 行為許可（芝生広場等）

バーベキュー・軽食販売・イベント開催等の行為許可につきましては、許可件数は前年度に対し18件減の48件、利用料は9千円減の33千円となりました。

(ウ) 企画事業（教室）

ふるさとの森企画事業として前回好評であった「犬の飼い方・しつけ教室」を6回の教室として開催し、延べ犬85頭とその飼い主など約160人が参加しました。

② 本施設の特性を生かした公園づくりについて

緑豊かな公園の特性を生かした樹木の管理を行いました。また、第一駐車場への駐輪場の設置、身障者トイレ内の充実を図るなど、利便性の向上に努めました。

③ ホームページの新設による情報発信について

新設したホームページ・ブログによる季節の情報、イベント、修繕などの情報発信を積極的に行いました。

④ 定期的な園内巡回による安全安心な管理について

園内巡回により、台風時の土砂流出、倒木、折れ枝などを発見し、立ち入り禁止などの適切な処置を早急に行いました。また、芝生広場・池回りの柵の補修・塗装、屋外身障者トイレの補修等を迅速に行うことができました。

⑤ バーベキュー関連施設の充実、整備、利用者拡大について

要望の多かった水洗の洋式トイレ設置、1・2号炉の補修など、快適な環境づくりに努め、利用者拡大を図りました。

⑥ イベント等の協力について

ふるさとの森で実施されたイベントについて、円滑に開催できるよう積極的に協力しました。

(4) 中央運動公園温水プール管理運営事業

① 通常営業について

利用者につきましては、前年度より7,547人減の49,252人でありました。利用内訳として、プールが約9割を占め、その他（多目的室、会議室）が約1割となっています。利用料につきましては、前年度に対し247千円減の12,759千円となりました。利用料のうち、プール利用料につきましては、台風やコロナウイ

ルスによる休館の影響などにより、前年度に対し1,095千円減の9,709千円でありました。また、教室参加料につきましては、前年度に対し363千円増の1,693千円、コース占用利用料につきましては、テレビ番組収録利用による収入増により、前年度に対し450千円増の1,050千円でありました。利用促進企画としましては、幼児、小中学生の利用拡充を目的とした「夏休みキッズポイントカードキャンペーン」を前年に引き続き実施しました。

②「水泳教室」「スポーツ教室」について

前年度に引き続き各種教室を実施しました。内容は、定期水泳教室63教室延べ535回、多目的室を利用したヨガ教室、リズム体操教室、シニア健康体操教室、ズンバ教室、エアロビクス教室13教室延べ128回、計14,764人の利用者を得ることができました。

③施設の維持管理について

経年劣化を主な要因とする、故障や不具合の発生した設備・機器について、主に以下のような修繕を実施しました。

(ア)空冷チラーの各種修繕を行いました。

(イ)貯湯槽安全弁の交換修繕を行いました。

(ウ)ウォータースライダースタート口のサッシ交換修繕を行いました。

(エ)温水ボイラーの修繕を行いました。

(オ)プール室内タイルの破損・亀裂の修繕を行いました。

(5)斎場管理運営事業

①通常営業について

利用件数につきましては、火葬利用が906件、式場利用は339件となり、前年度に対して火葬利用は14件減、式場利用は47件減となりました。また、利用料収入は20,541千円で前年度に対して1,546千円の減、賄い飲食物等の売上げは35,135千円となり、前年度より3,295千円の減、内訳は飲食物売上が2,576千円の減、生花売上が719千円の減となりました。

②遺族に配慮したサービスの提供について

特に収骨の際の丁寧な説明を心がけるようスタッフに指導するとともに、各室の準備や片付け等、また冷暖房の適度な調整などに配慮しながら実施しました。

③施設の維持管理について

経年劣化などに伴う不具合修繕を、次のことについて実施しました。

(ア)式場、通路、配膳室の照明をLEDへ交換しました。

(イ)小式場、待合室の空調設備の修繕を行いました。

(ウ)大式場扉、壁の不具合調整と修繕を行いました。

(エ)小式場のアンプの交換修繕を行いました。

(オ)大規模な改修及び備品の更新について、古河市へ要望(提案)を行いました。

④食中毒、防災対策の徹底について

食中毒を予防するために、手洗いの励行、清掃の徹底、抗菌スプレーの使用などに努めました。また、防災対策については、日常点検を励行するとともに、防災訓練を実施しました。

(6) ファミリー・サポート・センター管理運営事業

① 施設サービスについて

利用会員の子どもを当施設内において預かりを行い、利用人数は前年度比 149 人減の 2,437 人、利用料収入は前年度比 78 千円減の 4,489 千円となりました。

② 待機児童託児サービス事業について

保育所に入所できない 3 歳未満の子どもを預かりを行い、利用人数は前年度比 241 人減の 1,555 人、利用料収入は前年度比 296 千円減の 1,107 千円となりました。

③ 相互支援サービスについて

協力会員による利用会員の子どもを預かりを行い、利用人数は前年度比 83 人増の 112 人、利用料収入は前年度比 96 千円増の 135 千円となりました。

④ 会員同士の交流会について

交流会（イベント）を開催し、利用会員と協力会員の交流を図りました。

⑤ 施設の維持管理について

(ア) 駐車場入口の看板を修繕しました。

(イ) プレイルームの床を修繕しました。

(ウ) 劣化していた玄関前カラー舗装の修繕をしました。

(エ) 駐車場アスファルト舗装の陥没部分を修繕しました。

(オ) 老朽化していた洗面台を更新しました。

(7) ネーブル子育て広場「ヤンチャ森」管理運営事業

① 通常営業について

親子の交流や語り合いの場、乳幼児の遊び場、子育てに関する情報等を提供し、年間利用組数は前年度比 2,111 組減の 7,508 組、利用料収入は前年度比 6 千円増の 82 千円となりました。

② 快適な遊び場と親子の交流の場の提供について

ミニイベントとして月 2 回の交流会・月 3 回のおはなし会を開催し、特別イベントとして夏祭り、クリスマス会を開催しました。このほか、季節ごとにフォト撮影コーナーを作り、利用者同士の交流の促進に努めました。また、これらのイベントや日々の広場の様子を SNS（LINE 公式アカウント）で発信し利用促進に努めました。

③ 子育ての情報提供及び相談について

情報誌の設置による子育て情報の提供や、利用者への積極的な声掛けによる悩みや相談についてのアドバイスを行いました。

④ 適切な施設の運営について

実施したアンケートからの意見を反映し、空調やトイレの改善、遊具・玩具の配置換えなど、安全安心な環境づくりに努めました。

⑤ 施設の維持管理について

(ア) 施設全体の空調の向上のため、交流コーナーにエアコン・扇風機を取付けました。

(イ) 利用者の安全のため、劣化したデッキの床や施設各所の柱の修繕を行いました。

(ウ) トイレの安全や衛生管理のため、入口ドアを取付けました。

(エ) 遊具の配置換えに伴い、危険箇所にクッションパネルを取付けました。

(8) 駅前子育て広場「わんぱくステーション」管理運営事業

① 通常営業について

就学前の子どもとその保護者を対象に、交流・語り合いの場を提供し、年間利用組数は前年度比 1,577 組減の 11,833 組、利用料収入は前年度比 5 千円増の 39 千円となりました。

② 地域子育て支援センター事業について

地域子育て支援事業は、月～金の週 5 回、3 歳未満の子どもとその保護者を対象に、保護者同士、子ども同士、保育士と保護者とのコミュニケーションを深める活動を行い、年間利用組数は前年度比 54 組減の 1,473 組、利用料収入は前年度比 5 千円減の 147 千円となりました。また、育児相談については、前年度比 4 件増の年間 24 件の相談がありました。

③ 広報、周知活動について

子育て広場事業の活動を広く知ってもらうため、ホームページ・チラシの他、SNS（LINE 公式アカウント）を使用した PR を行い、年度末までに 1,100 人を超える登録がありました。メッセージやタイムライン機能を活用し、日々の様子やイベントの周知をするとともに、急なお知らせ等の配信も迅速に対応することができました。

④ 子育てに関する情報提供について

広場内及び支援室内において、保育所や幼稚園に関する情報や子育て関連の冊子などを利用者がいつでも見られるよう閲覧用として設置し、情報提供を行いました。

⑤ 施設の維持管理について

(ア) 支援室・おもちゃコーナーの壁を修繕しました。

(イ) 男女トイレの排水口を修繕しました。

(ウ) 授乳スペースを修繕しました。

(エ) 女子トイレの天井を修繕しました。

(オ) 事務所に窓を設置しました。

(カ) 施設の照明を LED 化しました。

(キ) 利用者の安全確保のため、入口自動ドアをオートロック式に変更しました。

(ク) 定期清掃のほか、ボールプールの清掃を行う等、定期的な衛生管理に努めました。

3.受託事業

(1)中央運動公園受託事業

利用者窓口業務及び施設の維持管理に努めました。

窓口処理件数 20,333 件

(2)古河体育館受託事業

利用者窓口業務及び施設の維持管理に努めました。

窓口処理件数 2,473 件

(3)水泳授業指導事業

中央運動公園温水プールにおける水泳授業指導を実施しました。

(ア)下大野小学校 延べ 60 回 1,547 人

(イ)総和北中学校 延べ 20 回 543 人

(ウ)水海小学校 延べ 30 回 929 人

(4)菊花育成受託事業

各種菊の育成、菊まつり時の水やりや清掃などを行いました。

(5)自動交付機管理事業

利用者からの交付機利用方法などに関する問い合わせへの対応、自動交付機に障害（トラブル等）が生じた場合の速やかな市民総合窓口室へ連絡及び市職員が現地に赴くまでの市民への対応を行いました。

(6)観光自転車貸出事業

古河市を訪れる観光客の市内観光の利便性を高めるため、観光自転車の貸出しを行いました

貸出自転車利用者数 1,465 人